

令和4年度全国学力・学習状況調査における佐賀県の結果について

1 令和4年度全国学力・学習状況調査

当調査は、文部科学省が、学校の設置管理者等（教育委員会、学校法人等）の協力を得て実施したものです。

(1) 調査実施日 令和4年4月19日（火曜日）

(2) 調査方式 悉皆調査方式（全数調査）

(3) 調査の対象

小学校6年生、義務教育学校前期課程6年生、特別支援学校小学部6年生
中学校3年生、義務教育学校後期課程3年生、特別支援学校中学部3年生

(4) 県内公立学校の実施学校・児童生徒数（分校を含む。）

	佐賀県（公立）		全国（公立）	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	161校	6,852人	18,671校	965,761人
中学校	92校	6,652人	9,348校	892,585人

(注)・佐賀県の公立小学校数は、義務教育学校前期課程（6校）、県立特別支援学校小学部（1校）を含みます。

・佐賀県の公立中学校数は、義務教育学校後期課程（6校）、県立中学校（4校）、県立特別支援学校中学部（5校）を含みます。

2 佐賀県の結果概要

学力は、知識や技能に加えて、自ら学び、判断・行動し、問題解決する資質や能力等までを含めたものです。今回の調査結果は、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面を示すものです。

(1) 教科に関する調査の結果

佐賀県の今年度の状況について、区分ごとの平均正答率を全国と比較すると、小学校6年生、中学校3年生ともに、全ての区分で全国平均を下回りました。

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果

区分		平均正答率 (%)		平均正答数	
		佐賀県 (公立)	全国 (公立)	佐賀県 (公立)	全国 (公立)
小学校 6年生	国語	64	65.6	9.0/14問	9.2/14問
	算数	62	63.2	9.9/16問	10.1/16問
	理科	62	63.3	10.5/17問	10.8/17問
中学校 3年生	国語	68	69.0	9.5/14問	9.7/14問
	数学	47	51.4	6.5/14問	7.2/14問
	理科	48	49.3	10.1/21問	10.4/21問

- (注) ・都道府県別の平均正答率は、文部科学省から整数値で提供されています。
 ・平均正答数は、児童生徒の正答数の平均です。
 ・平均正答数は四捨五入した値であるため、それをもとに平均正答率を求めた場合、上記の数値と異なる場合もあります。

○国語は、小学校・中学校ともに、文脈を捉えて漢字を書く問題の正答率が高い傾向にありますが、小学校では、文章についての感想や意見を基に文章のよさを見付ける問題、中学校では、必要な情報を資料から引用して、根拠を明確にした文章を書く問題の正答率は低い傾向にあります。

○小学校算数は、基本的な計算問題の正答率が高い傾向にありますが、割合に関する問題の正答率は低い傾向にあります。中学校数学は、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する問題の正答率は低い傾向にあります。

○理科は、小学校では、観察の記録や結果を分析する問題の正答率が高い傾向にありますが、実験や自然の事物現象から得た結果を解釈し、自分の考えを記述する問題の正答率は低い傾向にあります。また、中学校では、目的に応じて、適切な実験の計画を立てる問題の正答率が高い傾向にありますが、授業で身に付けた知識を日常生活や社会の中における現象と関連付けて考える問題の正答率は低い傾向にあります。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する意識調査の結果

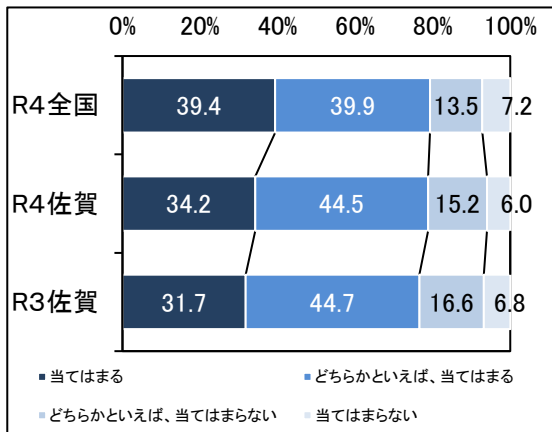
① 自己肯定感の向上に関して

(グラフ1) 児童生徒質問紙

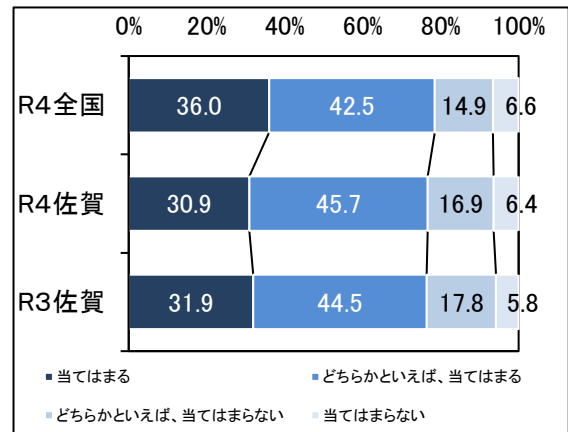
○自分にはよいところがあると思いますか。

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合で見ると、小学校6年生は、令和3年度と比べて増加しており、全国平均と同程度です。中学校3年生は、令和3年度と比べて同程度であり、全国平均を下回っています。

《小学校6年生》



《中学校3年生》



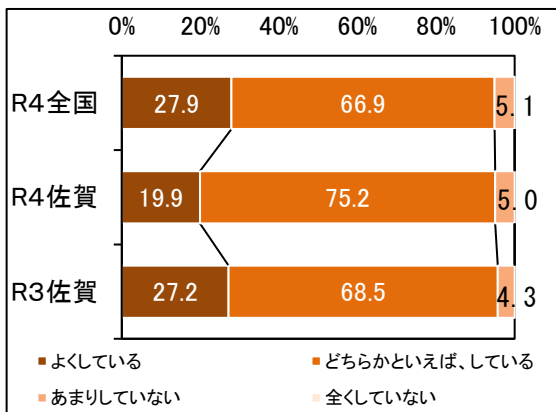
② 全職員による共通理解と共通実践に関して

(グラフ2) 学校質問紙

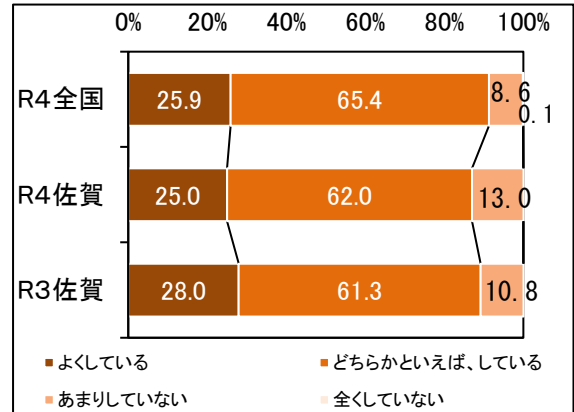
○指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか。

「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した学校の割合で見ると、小学校は、令和3年度と比べて同程度であり、全国平均と同程度です。中学校は、令和3年度と比べて減少しており、全国平均を下回っています。

《小学校》



《中学校》

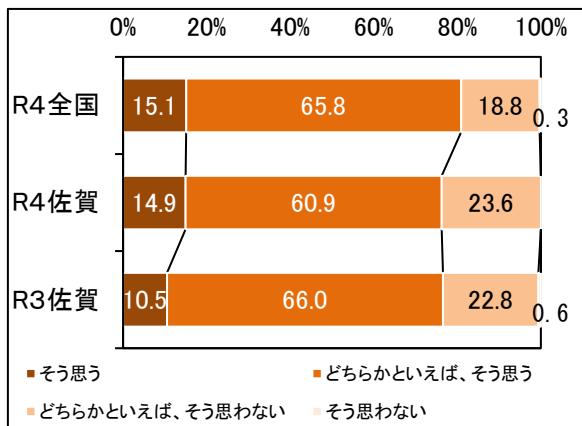


③ 学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践に関して
(グラフ3) 学校質問紙

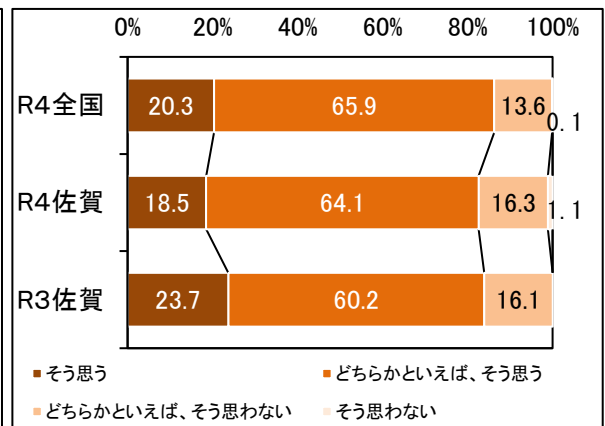
○児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。

「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した学校の割合で見ると、小学校は、令和3年度と比べて同程度であり、全国平均を大きく下回っています。中学校は、令和3年度と比べて減少しており、全国平均を下回っています。

《小学校》



《中学校》

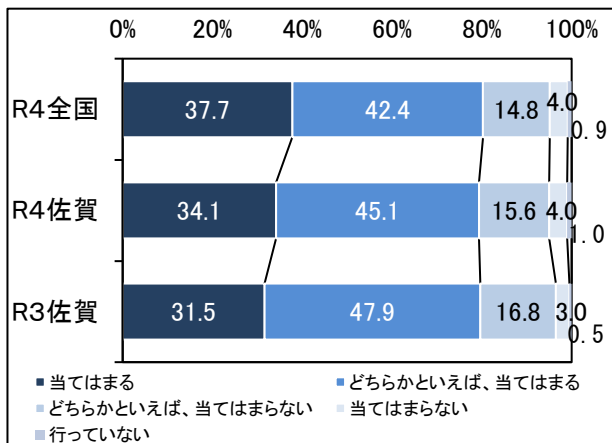


(グラフ4) 児童生徒質問紙

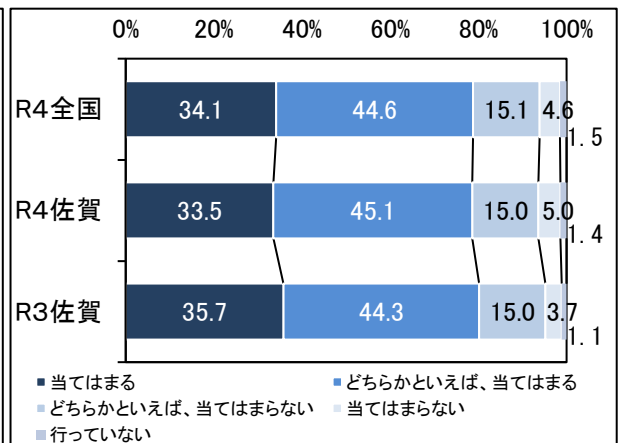
○学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合で見ると、小学校6年生は、令和3年度と比べて同程度であり、全国平均と同程度です。中学校3年生は、令和3年度と比べて減少しており、全国平均と同程度です。

《小学校6年生》



《中学校3年生》

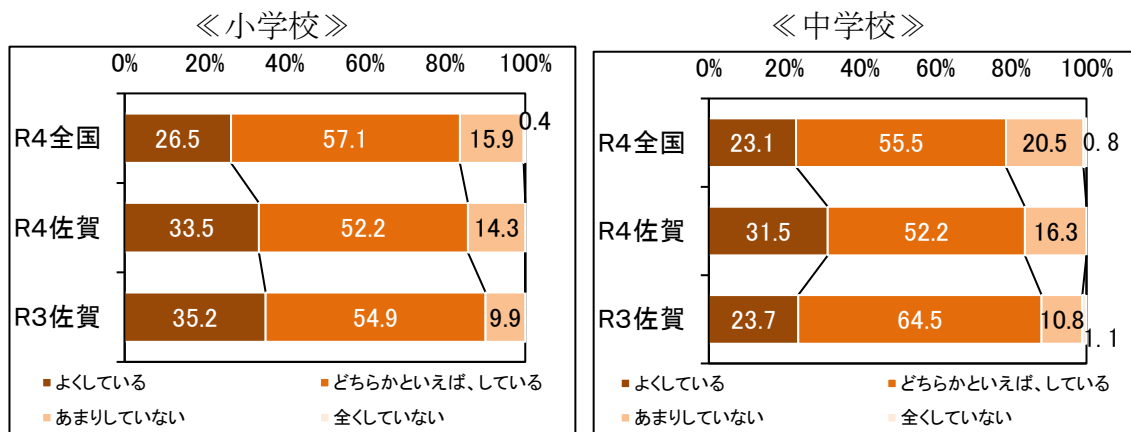


④ 授業改善に向けた校内研修等の充実に関して

(グラフ5) 学校質問紙

○児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか。

「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した学校の割合で見ると、小学校は、令和3年度と比べて減少していますが、全国平均を上回っています。中学校は、令和3年度と比べて減少していますが、全国平均を大きく上回っています。

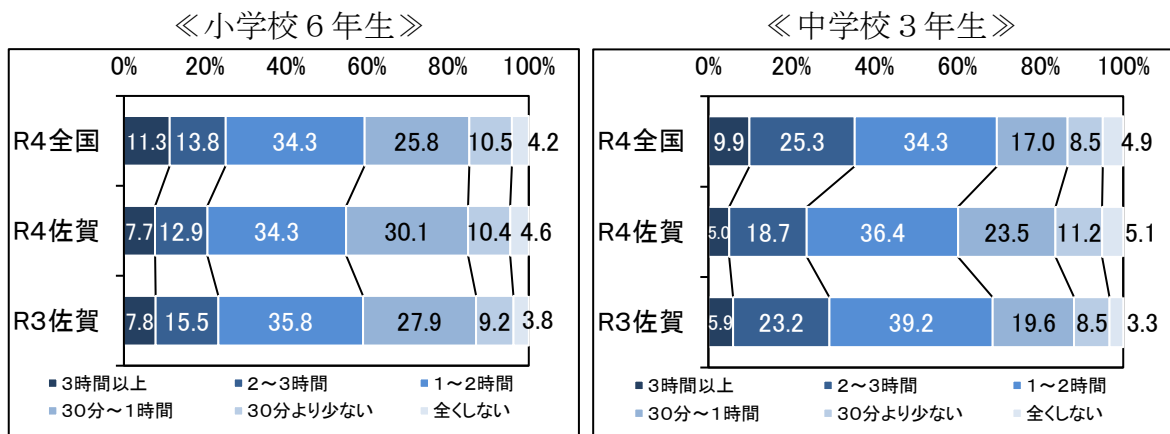


⑤ 家庭学習の充実に向けた指導の徹底に関して

(グラフ6) 児童生徒質問紙

○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます）。

「1時間以上勉強している」と回答した児童生徒の割合で見ると、小学校6年生は、令和3年度と比べて減少しており、全国平均を下回っています。中学校3年生は、令和3年度と比べて大幅に減少しており、全国平均を大きく下回っています。



3 調査結果の評価と今後の対応

今回の全国学力・学習状況調査では、4年振りに実施された理科を含め、全ての区分において2年連続全国平均を下回り、全国上位の県との平均正答率の差は昨年度と比較して拡大しました。また、学校における授業改善が十分に進んでいない状況や家庭学習時間が十分確保されていない状況も依然として見られます。

県教育委員会としては、今回の調査結果の分析をさらに進め、取組の検証・改善を図りながら、市町教育委員会はもとより、学校、家庭・地域と連携して、佐賀県で学ぶ児童生徒の学力向上に取り組んでまいります。